



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長 (氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,354	△16.2	△168	—	△223	—	△292	—
23年3月期第2四半期	8,773	△3.5	333	23.7	258	44.7	289	109.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △290百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△13.65	—
23年3月期第2四半期	13.51	13.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,060	4,908	34.9
23年3月期	14,881	5,199	34.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,901百万円 23年3月期 5,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,628	△7.2	△81	—	△194	—	△285	—	△13.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	21,504,347 株	23年3月期	21,504,347 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	108,500 株	23年3月期	108,401 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	21,395,593 株	23年3月期2Q	21,398,848 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成23年11月21日(月)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、一部景気に持ち直しに向けた動きが見られるものの、雇用回復の鈍化、海外景気の下振れ、デフレ継続の下での止まらない円高傾向など、様々な悪条件が生じ、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主力事業である外食業界におきましても、消費者の節約志向は依然として強く、また、他社焼肉チェーン店における集団食中毒事件の余波が残る中、放射性セシウムが牛肉から検出されたことによる焼肉を控える傾向等の大きな影響がありました。

当社では、これまでも川上から川下にいたるサプライチェーン組織の各段階における衛生管理を徹底し、販売する商品に対して万全の体制を構築してまいりましたが、従来にも増して衛生・品質管理の向上を推し進め、より一層の「安全・安心」の提供を行うとともに、お客様からのより一層のご理解、ご支持をいただける様、努めてまいりました。

また、このように提供する商品の「安全・安心」に加えて、おもてなしの心を込めた接客や店舗空間のあり方についても、時代に対応した新たなものに変革するために、人材の採用や教育の改善等を鋭意進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高73億54百万円（前年同四半期比16.2%減）、営業損失1億68百万円（前年同四半期は営業利益3億33百万円）、経常損失2億23百万円（前年同四半期は経常利益2億58百万円）、四半期純損失2億92百万円（前年同四半期は四半期純利益2億89百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

① 安楽亭業態

当第2四半期連結累計期間に1店舗を新規出店し、4店舗を閉鎖した結果、安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は204店舗であります。内訳は直営165店舗、暖簾5店舗、FC34店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「『安楽亭×劇場版戦国BASARA×戦国BASARA クロニクルヒーローズ』あの大迫力が今、甦る！！復活！でかつ焼肉フェア」や夏の一押しデザートとしてアップルマンゴーをたっぷり使用した新デザートの開発、「飲み放題800円」や「上タン塩も食べ放題」などの人気の食べ放題企画、「超特価クーポン祭り」、「韓流焼肉フェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は62億41百万円（前年同四半期比16.0%減）となり、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比89.0%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は24店舗であります。内訳は直営21店舗、暖簾1店舗、FC2店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「期間限定！行楽焼肉セット」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを開催してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は8億8百万円（前年同四半期比16.9%減）となり、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比88.6%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は19店舗であります。内訳は直営9店舗、暖簾3店舗、FC7店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「TERRAPLATE(焼肉)」、「楽コンセプト(焼肉)」、「まんぼく(焼肉)」、「国産牛カルビ本舗安楽亭(焼肉)」、「和牛カルビ屋(焼肉)」、「Varié(ステーキ・ハンバーグ)」、「カフェビーンズ(喫茶)」、「春秋亭(和食)」、「上海菜館(中華)」、「龍饗(中華)」等を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は3億4百万円（前年同四半期比16.9%減）となり、セグメント損失は28百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 連結財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ8億20百万円減少し、140億60百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したこと、有形固定資産の減価償却、敷金及び保証金が減少したこと等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ5億29百万円減少し、91億51百万円となりました。これは主に、借入金の減少及び設備購入に係る割賦未払金の支払により割賦未払金及び長期割賦未払金が減少したこと等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ2億91百万円減少し、49億8百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上によるものです。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比べ4億83百万円減少し、5億8百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失の計上2億円、仕入債務の減少額79百万円等により、1億59百万円の支出となりました。前年同四半期は3億42百万円の収入でありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が53百万円ありましたが、敷金及び保証金の回収による収入89百万円等により、11百万円の収入となり、前年同四半期と比べ25百万円(前年同四半期比68.0%)の収入の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1億99百万円、割賦債務の返済による支出1億11百万円等により、3億35百万円の支出となり、前年同四半期と比べ96百万円(前年同四半期比22.4%)の支出の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日の平成23年3月期決算発表時に公表しました、平成24年3月期通期連結業績予想について下記のとおり修正します。

① 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表数値(A) (平成23年5月13日発表)	16,550	320	215	90	4円21銭
今回修正予想(B)	15,628	△81	△194	△285	△13円32銭
増減額(B) - (A)	△922	△401	△409	△375	—
増減率(%)	△5.6	—	—	—	—
前期(平成23年3月期)実績	16,845	314	182	165	7円73銭

② 修正の理由

当第2四半期の売上高につきましては、前年同期に比べ客単価は変わらないものの、「東日本大震災」の影響や、他社焼肉チェーン店による連続集団食中毒事件の余波及び和牛の放射能汚染による風評被害等により客数が減少したため、大幅な減収となりました。

営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましても、上記売上高の減少により、大幅な減益となりました。

通期業績見直しにつきましては、足元の状況及び第2四半期の業績の動向等を踏まえ修正しております。

尚、平成24年3月期の通期業績予想に関する事項については、平成23年11月9日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

(注意事項)

本資料における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	994,530	511,355
受取手形及び売掛金	245,125	212,135
商品及び製品	104,457	111,377
仕掛品	255	317
原材料及び貯蔵品	282,458	287,613
前払費用	242,479	229,067
繰延税金資産	58,729	2,808
その他	162,878	179,845
貸倒引当金	△1,325	—
流動資産合計	2,089,590	1,534,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,006,962	2,886,344
機械装置及び運搬具(純額)	23,610	22,131
工具、器具及び備品(純額)	97,694	87,046
土地	6,002,292	6,002,292
リース資産(純額)	25,488	22,896
建設仮勘定	5,136	4,208
有形固定資産合計	9,161,185	9,024,920
無形固定資産		
99,273		100,585
投資その他の資産		
投資有価証券	61,443	62,765
長期貸付金	936,748	912,329
長期前払費用	31,430	32,089
繰延税金資産	11,842	10,671
敷金及び保証金	3,186,736	3,055,632
その他	62,274	64,959
貸倒引当金	△759,163	△737,870
投資その他の資産合計	3,531,313	3,400,578
固定資産合計	12,791,771	12,526,084
資産合計	14,881,362	14,060,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	377,128	297,280
短期借入金	6,976,846	6,926,782
リース債務	5,896	5,443
割賦未払金	196,139	122,842
未払金	252,100	273,175
設備関係未払金	46,512	48,742
未払費用	471,372	418,404
未払法人税等	89,837	55,506
未払消費税等	48,038	81,468
賞与引当金	77,000	56,500
その他	149,235	80,824
流動負債合計	8,690,109	8,366,971
固定負債		
長期借入金	350,904	180,509
リース債務	21,319	18,597
長期割賦未払金	67,303	25,656
繰延税金負債	131,938	131,964
退職給付引当金	112,036	114,554
役員退職慰労引当金	236,862	242,639
その他	70,985	70,985
固定負債合計	991,349	784,906
負債合計	9,681,458	9,151,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,359	2,537,261
利益剰余金	△435,057	△727,130
自己株式	△66,164	△66,105
株主資本合計	5,218,523	4,926,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,520	△25,282
その他の包括利益累計額合計	△26,520	△25,282
新株予約権	7,900	7,600
純資産合計	5,199,903	4,908,729
負債純資産合計	14,881,362	14,060,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,773,445	7,354,636
売上原価	3,157,553	2,711,774
売上総利益	5,615,891	4,642,861
販売費及び一般管理費	5,282,184	4,811,240
営業利益又は営業損失(△)	333,707	△168,379
営業外収益		
受取利息	20,856	17,800
受取配当金	745	745
受取地代家賃	5,522	5,353
貸倒引当金戻入額	—	1,553
その他	16,546	16,010
営業外収益合計	43,671	41,463
営業外費用		
支払利息	111,382	90,667
その他	7,975	6,193
営業外費用合計	119,357	96,860
経常利益又は経常損失(△)	258,020	△223,776
特別利益		
固定資産売却益	—	2,449
貸倒引当金戻入額	16,797	—
賞与引当金戻入額	418	—
受取補償金	48,176	30,464
特別利益合計	65,392	32,914
特別損失		
固定資産除却損	459	1,298
減損損失	1,907	—
投資有価証券評価損	100	—
賃貸借契約解約損	219	8,004
特別損失合計	2,687	9,303
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	320,726	△200,165
法人税、住民税及び事業税	30,731	34,815
法人税等調整額	848	57,091
法人税等合計	31,580	91,907
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	289,145	△292,072
四半期純利益又は四半期純損失(△)	289,145	△292,072

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	289,145	△292,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,712	1,237
その他の包括利益合計	△1,712	1,237
四半期包括利益	287,433	△290,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,433	△290,834

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	320,726	△200,165
減価償却費	223,219	206,175
減損損失	1,907	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,797	△2,772
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,100	△20,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,347	2,518
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15,883	5,776
受取利息及び受取配当金	△21,601	△18,546
支払利息	111,382	90,667
為替差損益(△は益)	5	3
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,449
投資有価証券評価損益(△は益)	100	—
受取補償金	△48,176	△30,464
固定資産除却損	459	1,298
賃貸借契約解約損	219	8,004
売上債権の増減額(△は増加)	16,899	32,990
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,109	△12,138
前渡金の増減額(△は増加)	△16,527	22,380
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,003	△79,848
未払金の増減額(△は減少)	49,499	21,150
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,042	31,779
未払費用の増減額(△は減少)	3,472	△53,423
預り金の増減額(△は減少)	△61,993	△57,721
その他	△16,706	12,200
小計	449,887	△43,083
利息及び配当金の受取額	19,706	17,013
利息の支払額	△99,595	△89,475
補償金の受取額	38,540	30,464
店舗閉鎖に伴う支払額	—	△8,004
法人税等の支払額	△66,486	△66,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	342,052	△159,164

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△0
有形固定資産の取得による支出	△40,883	△53,113
有形固定資産の除却による支出	△382	△1,177
有形固定資産の売却による収入	—	2,449
無形固定資産の取得による支出	△16,108	△15,027
投資有価証券の取得による支出	△55	△57
敷金及び保証金の差入による支出	—	△5,000
敷金及び保証金の回収による収入	71,556	89,652
貸付金の回収による収入	12,680	652
預り保証金の返還による支出	△510	—
預り保証金の受入による収入	300	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	10,357	△6,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,954	11,836
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△21,000	△21,000
長期借入金の返済による支出	△189,841	△199,459
割賦債務の返済による支出	△220,354	△111,795
リース債務の返済による支出	—	△3,175
自己株式の取得による支出	△747	△245
自己株式の売却による収入	—	206
配当金の支払額	△145	△74
その他	△580	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△432,668	△335,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△53,667	△483,175
現金及び現金同等物の期首残高	1,029,340	991,516
現金及び現金同等物の四半期末残高	975,673	508,341

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,433,293	973,014	367,137	8,773,445	8,773,445	—	8,773,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,433,293	973,014	367,137	8,773,445	8,773,445	—	8,773,445
セグメント利益又は 損失(△)	513,062	78,075	△2,183	588,954	588,954	△255,247	333,707

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、1店舗の一部が道路収用予定のため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,907千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,241,566	808,103	304,967	7,354,636	7,354,636	—	7,354,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,241,566	808,103	304,967	7,354,636	7,354,636	—	7,354,636
セグメント利益又は 損失(△)	56,524	8,928	△28,132	37,321	37,321	△205,700	△168,379

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。